

大塚英二先生 経歴・研究業績



学歴

- 一九八〇年三月 静岡大学人文学部卒業
- 一九八三年三月 名古屋大学大学院文学研究科博士前期課程修了（文学修士）
- 一九八六年三月 同研究科博士後期課程満期退学
- 一九九四年十二月 名古屋大学博士（歴史学）

職歴

- 一九八六年四月 愛知県立看護短期大学非常勤講師（一九九一年三月まで）
- 一九八六年四月 名城大学理工学部非常勤講師（一九八七年三月まで）
- 一九八八年四月 日本学術振興会特別研究員（一九九〇年三月まで）
- 一九九〇年四月 日本福祉大学社会福祉学部非常勤講師（一九九一年三月まで）
- 一九九一年四月 名古屋大学年代測定資料研究センター助手（一九九七年三月まで）

- 一九九二年四月 中京大学教養部非常勤講師（一九九三年三月まで）
- 一九九三年四月 愛知県立大学文学部非常勤講師（一九九四年三月まで）
- 一九九七年四月 愛知県立大学文学部助教授（一九九九年九月まで）
- 一九九八年四月 中京大学社会学部非常勤講師（一九九九年三月まで）
- 一九九九年十月 愛知県立大学文学部教授（二〇〇九年三月まで）
- 二〇〇七年四月 愛知県立大学大学院国際文化研究科長（二〇〇九年三月まで）
- 二〇〇九年四月 愛知県立大学日本文化学部教授（現在に至る）
- 二〇一一年四月 愛知県立大学学術情報センター長（二〇一三年三月まで）
- 二〇一八年四月 愛知県立大学日本文化学部長（二〇二一年三月まで）
- *愛知県立大学在職中に静岡大学・名古屋大学の非常勤講師（各二期・二期）を務める。

各種委員（現職のみ）

愛知県文化財保護審議会委員

名古屋市文化財調査委員
 静岡市文化財保護審議会委員
 瀬戸市文化財保護審議会委員
 豊田市史編さん委員会専門委員
 名古屋歴史科学研究会運営委員

業績

著書

- 『佐織町史』通史編 共著 佐織町 一九八九年
- 『近世の瀬戸』 共著 第一法規出版 一九九六年
- 『新しい近世史』4 共著 新人物往来社 一九九六年
- 『日本近世農村金融史の研究』 単著 校倉書房 一九九六年
- 『民衆運動史』近世から近代へ3 共著 青木書店 二〇〇〇年
- 『新体系日本史』3 土地所有史 共著 山川出版 二〇〇二年
- 『金谷町史』通史編 共著 金谷町 二〇〇四年
- 『瀬戸市史』通史編上 共著 瀬戸市 二〇〇七年
- 『日本近世地域研究序説』 単著 清文堂 二〇〇八年
- 『藤枝市史』通史編下 共著 藤枝市 二〇一一年
- 『藤枝市史叢書』16 岡部宿「杉山雜記」 編著 藤枝市 二〇一一年
- 『近世尾張の地域・村・百姓成立』 単著 清文堂 二〇一四年
- 『愛知「地理・地名・地図」の謎』 監修 実業之日本社 二〇一四年

- 『名鉄沿線の不思議と謎』 監修 実業之日本社 二〇一五年
- 『吉利支丹抄物 影印・翻刻・現代語訳』 編著 勉誠出版 二〇一九年
- 『愛知県史』通史編近世? 共著 愛知県 二〇一九年
- 『新修豊田市史』通史編近世 共著 豊田市 二〇二一年
- *各自治体史資料編(二〇篇ほど) は著書に含めず
- 論文等**
- 「近世後期北関東における小農再建と報徳金融の特質」『日本史研究』263 一九八四年
- 「近世農村史研究の前進のために」『歴史の理論と教育』62 一九八四年
- 「報徳仕法成立期における諸問題」『名古屋大学人文科学研究』15 一九八六年
- 「村共同体における融通機能の組織化について」『歴史学研究』560 一九八六年
- 「近世後期の用水相論と杵樋技術の展開」『日本史研究』303 一九八七年
- 「水利秩序の変容と地域・村落間格差」『地方史静岡』17 一九八九年
- 「農村荒廃地帯の年季奉公人欠落の一齣」『歴史の理論と教育』76 一九八九年
- 「有力農民の「潰れ」と相続について」『信濃』437・475 一九九〇年
- 「年貢割付と村入用の公開について」『信濃』501 一九九一年
- 「尾張藩における同心頭―同心関係について」『名古屋大学古川総合研究資料館報告』8 一九九二年
- 「近世期地主小作関係に対する村共同体の関与について」『歴史の理論と教育』85 一九九二年
- 「近世初期「幕領」における年貢免状の整備について」『中京大学教養論叢』33 一九九三年
- 「光友夫人死去に伴う公儀付人の召返しについて」『徳川林政史研究所紀要』27 一九九三年
- 「近世の散田と散田米について」『名古屋大学古川総合研究資料館報告』9 一九九三年
- 「近世後期の郷地賄について」『ヒストリア』143 一九九四年
- 「近世期遠州村々に見る議定構造」『信濃』537 一九九四年
- 「明治四年における真継家鋳物師支配の終焉」『名古屋大学古川総合研究資料館報告』10 一九九四年
- 「近世後期における役認識の変化と身分集団」『名古屋大学古川総合研究資料館報告』12 一九九六年
- 「国替と御蔵の管理について」『愛知県立大学文学部論集』46 一九九七年
- 「近世期遠州地方の炭焼業について」『愛知県立大学文学部論集』47 一九九九年
- 「近世期の入会山相論と地域構造」『愛知県立大学文学部論集』

48 二〇〇〇年

〔近世地域研究のための覚書〕『歴史の理論と教育』107 二〇〇〇年

〔村共同体の村外地主控え地返還闘争について〕『愛知県立大学文学部論集』49 二〇〇一年

〔豪農経営と地域金融秩序〕(歴史科学協議会大会報告)『歴史評論』611 二〇〇一年

〔豪農経営と地域金融秩序―豪農の家政改革を手がかりに〕『愛知県立大学文学部論集』50 二〇〇二年

〔尾張藩山同心の日記から見た藩主家族の松茸狩り〕『愛知県立大学文学部論集』51 二〇〇三年

〔近世期有力百姓の由緒と山地(やまち)支配〕『愛知県立大学文学部論集』52 二〇〇四年

〔近世後期駿遠地方における地域金融〕『藤枝市史研究』5 二〇〇四年

〔近世後期の五人組構成と身分集団〕『愛知県立大学文学部論集』53 二〇〇五年

〔寛永十九年幕領村からの代官宛請書〕『愛知県立大学文学部論集』54 二〇〇六年

〔近世後期尾張地方における百姓の分散について〕『愛知県立大学文学部論集』55 二〇〇七年

〔近世中後期遠州地域の農業技術と報徳仕法〕『愛知県立大学文学部論集』56 二〇〇八年

〔近世期の土地利用と地域利害の相克〕『愛知県立大学文学部論集』57 二〇〇九年

〔尾張藩御用商人菱屋太兵衛家に関する若干の史料について〕『愛知県立大学院国際文化研究科論集』(日本文化編) 11 二〇一〇年

〔山入会争論と山の小社〕『愛知県立大学日本文化学部論集』1 二〇一〇年

〔近世初期有力竈屋の存在形態〕『豊田市史研究』2 二〇一一年

〔尾張藩御小納戸役所貸付金と津島村有力百姓〕『愛知県立大学日本文化学部論集』2 二〇一一年

〔元禄十三年濃尾国境の山論に関する一考察〕『国境の歴史文化』(清文堂)所収 二〇一二年

〔近江国水口宿蓮花寺蔵「宿村庄屋家業覚書」について〕『愛知県立大学日本文化学部論集』3 二〇一二年

〔水口宿蓮花寺に伝来した延享二年講中世話人の記録〕『愛知県立大学日本文化学部論集』4 二〇一三年

〔近江八幡町尾張藩領編入に関する新史料について〕『愛知県立大学日本文化学部論集』5 二〇一四年

〔真野英三氏旧蔵『史徴墨宝』に貼付された三上参次の書簡〕『愛知県立大学日本文化学部論集』6 二〇一五年

〔貞享三年松波勘十郎らより九久平村など五ヶ村宛「定免之覚」について〕『豊田市史研究』7 二〇一六年

- 「文化八年尾張国津島村鍛冶職一件について」『愛知県立大学日本文化学部論集』7 二〇一六年
- 『吉利支丹抄物』と大航海時代の日本 『日出づる国と日沈まぬ国』（勉誠出版）所収 二〇一六年
- 「近江国水口蓮花寺」『雑修録』からみた寺院後住の決定過程」『愛知県立大学日本文化学部論集』8 二〇一七年
- 「三河国花園村豪農寺田家の地域金融について」『愛知県立大学日本文化学部論集』9 二〇一八年
- 「天保三年三州加茂一揆勢に対する足助町村の反撃」『愛知県立大学日本文化学部論集』10 二〇一九年
- 『吉利支丹抄物』における天狗と悪魔」『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』（日本文化編）20 二〇一九年
- 『吉利支丹抄物』における家と家族」『愛知県立大学日本文化学部論集』12 二〇二一年

*その他多数の文章を発表しているが省略。